

U35のメンバーが市民にわかりやすくレポートします！

## 傍聴記

## 第5回融合委員会

開催日：平成22年6月29日（火） 会場：ホテル京都ガーデンパレス

10年後の自分と、京都のまちの、  
ミライとモンダイを考える。

## 京都市基本計画審議会

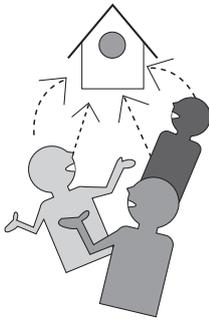
レポーター 世古 和希さん



立命館大学で哲学を学ぶ21歳。最近は科学、文学、国際問題などにも感受性の門戸を拡げるべきだと痛感したり、将来の仕事のことで悩んだりして日々を過ごしています。

## POINT

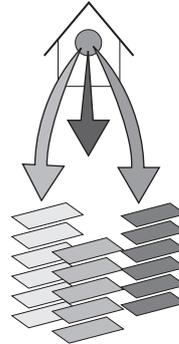
1

みなさんからの  
パブリック・コメントが  
集まりました！

第五回目となる今回の融合委員会では、第1次案に対するパブリック・コメントの速報が伝えられました。従来のパブコメは京都市HPからの投稿が主だったのですが、今回は若者会議の活躍により、大々的に市民のみなさんからの募集を行いました。具体的には三条会商店街や西京高校、新風館でのシンポジウムなどへの出前パブコメのほか、主要地下鉄や商業施設などでのパブコメ集箱の設置などです。

## POINT

2

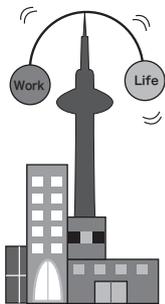
パブリック・コメントの  
今後の活用の仕方について

若者会議の活動の効果もあり、基本計画についての市民のみなさんから、多くの意見が集められました。今後、各共汗部会にてこれらのパブコメを分野別に検討し、次回融合委員会にて第2次案が検討される予定です。また併せて、京都市HPにて市民の方がきちんと書いて下さった各パブコメへの対応が掲載される予定です。

## 会議のポイント

## POINT

3

ワーク・ライフ・バランスの  
理念を実現するまちづくり

会議ではさらに、未来の担い手・若者会議U35から、議長の松山さん、副議長の越村さんが自身の子育て経験などをふまえて発言を行いました。それを受けて委員会では、市民一人ひとりが家庭や仕事だけではなく“社会貢献”にもアイデンティティを見出せる社会理念「真のワーク・ライフ・バランス」が各市民の多様な生き方を担保する上で大事だと判断、次期基本計画の新たなコンセプトの柱に加えました。

## POINT

4

計画策定の  
根拠となる問題・背景の  
正しい認識に向けて

地球温暖化、人口減少、財政問題など、次期基本計画を策定するにあたって委員の方々は京都に関する一連の問題意識を共有していました。基本計画に明記するそうした問題・背景の文言が今会議で検討に付されました。委員の方々は各分野の専門家でもあるので、「未来像へ繋がるような記述や、学術的に正確な表現とすべき」と的確な意見を述べていました。

今年は10年に一度の、京都市の10年後を考える年です。

市政をよく知り、よく考え、利用し、参加し、仲良くなろう



この会議を傍聴して  
世古さんが思ったこと

今回の会議では、僕自身も所属している未来の担い手・若者会議U35のこれまでの取組が実ったように思いました。「真のワーク・ライフ・バランス」という社会理念は発足当初からU35メンバー内でも議論されていて、少子化問題の解決や働き甲斐ある市民生活のためには必須の理念です。また、街に出てパブリック・コメントを広く市民のみなさんへ募集する活動も行ってきました。融合委員会や共汗部会のこのレポーター役もじつはそうした活動の一環なんですよ(笑)。

会議中に尾池会長が「これまで我々は計画策定に努めてきたが、パブリック・コメントを受けてその作り上げてきたものをもう一度壊して再構成するくらいのはしてもいいと思う」という発言をなさって、はっとしました。都市を支えているのは市民一人ひとりの政治意識です。「どうせ私が市政に何か言ってもなあ…」と市民に思われたら市政はおしまいです。こうした点で、市役所は業務を執り行いつつ市民のみなさんとも連帯しつつ、という難しい舵取りが迫られているように思いました。

京都の未来に向けて  
思いを馳せること

## 当日のプログラム

- ・今後の計画の策定スケジュールの確認
- ・松山委員からの第1次案に係る若者会議の活動報告
- ・U35越村副議長からの第2次案に向けた「仕事・家庭・社会貢献を充実させる真のワーク・ライフ・バランス」の提案
- ・第1次案に対するパブリック・コメントについて事務局から説明
- ・第2次案(計画の背景、基本計画のあり方、政策の体系(分野別方針の呼称を変更)、計画の推進及び重点戦略)について意見交換
- ・尾池会長から「若者会議のパブコメの成果に非常に感謝している。ワーク・ライフ・バランスは、重点戦略に位置付けているが、未来像に昇格してはどうか。」との講評と提案

## 「京都市基本計画審議会」 「U35」とは

「京都市基本計画審議会」とは、10年後の京都を見据えて、今後10年間の京都市の指針となる計画を立てる重要な会議です。「U35」とは「未来の担い手・若者会議U35」のことをいい、基本計画の策定に対し、未来のまちづくりの担い手として、若者ならではの観点から提言を行う、概ね35歳未満のメンバーで構成された会議です。皆様も会議の傍聴にお越し下さい。

京都市基本計画審議会

第5回融合委員会開催結果

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000085214.html>

未来の担い手・若者会議U35

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000071812.html>